

事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶ 現在募集中

嘱託職員

嘱託栄養士、嘱託調理員、嘱託ケースワーカー、生活支援員補助（夜勤専従）
調理補助



お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団
総務部総務課 採用担当
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト <http://www.nagoya-rehab.or.jp>



事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式 ➡ @nagoya_rehab

事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE ROAD

2019年
秋号
vol.22



事業団公式マスコットキャラクター
りはみん

INDEX

- ◆第22回国際福祉健康産業展
～ウェルフェア2019～
- ◆バスケットボール用車いすの寄贈について
- ◆2019年度
三菱UFJ銀行新人研修への協力について
- ◆令和元年度10月開始の新規事業について
- ◆社会貢献活動
りはみんサロン(居場所・サロン事業)
(5～7月報告)
- ◆センター説明会を開催
- ◆障害者スポーツセンター
修繕工事のお知らせ
- ◆介護ロボットフォーラム予告
- ◆イベント情報
- ◆募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



第22回

国際福祉健康産業展



～ウェルフェア2019～

令和元年5月30日～6月1日、ポートメッセなごやにて、第22回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2019～が開催されました。

当事業団は毎年、名古屋国際見本市委員会等と主催者として参画するとともに、なごや福祉用具プラザがこの展示会に出展をしています。

会期中は、なごや福祉用具プラザのブースに多くの来場者が足を運んでくださいました。昨年度と比べ、ブースがかなり広くなったのもあり、会場での相談対応は975件と昨年度より120件ほど多くのご相談を受けました。また、既存の福祉用具から次世代の福祉用具である介護ロボットなどの最新のAI搭載品や実際に体験することのできる福祉用具も用意し、来場者にはゆっくりと展示品を見て・試していただくことができました。

併せて、技術ボランティアによる生活の中で便利に使える道具の展示・相談も行い、福祉用具は身近にもあるということをアピールできたのではないかと思います。

今後もさまざまな機会でのプラザの機能や福祉用具を普及・啓発し、高齢者や障害者の方の自立の支援につなげていきたいと考えています。



バスケットボール用車いすの寄贈について

公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会で行っている障害者スポーツ支援の一環として、バスケットボール用車いす(松永製作所 B-MAX)3台を寄贈いただきました。



2019年度

三菱UFJ銀行新人研修への協力について

令和元年5月9日(木)および16日(木)に、視覚支援課と生活支援課で三菱UFJ銀行新入社員のボランティア体験を受け入れました。

三菱UFJ銀行では、平成19年から東京ボランティア・市民活動センターの協力の下、新人研修の一環として福祉施設や団体へ赴き、ボランティア体験を行っています。昨年度は関東圏のみでしたが、今年度は初めて名古屋市と大阪市に範囲を広げての実施となり、当センターでは5名の方を受け入れました。

今回は、今後さまざまなお客様が来店されることも想定し、視覚障害の方の誘導やロービジョンキットの使用、署名やお金を数える体験、片手作業の体験を通じて障害がある方の立場になって考えていただくことや、両課の利用者さ



かばんつくりの一風景

んとの交流を通して、障害がある方と実際に接していただく機会を設けました。

中でも生活支援課での利用者交流では、新入社員の方々に企画を考えていただきました。新入社員の皆さんが立てた企画は「かばんづくり」と「がおえ大会」。「かばんづくり」は無地のかばんにフェルトなどでデコレーションしていくもので「がおえ大会」は職員の間で似顔絵を描き、誰が一番似ているかを競うものでした。参加された利用者さんは皆さん楽しそうに笑い、非常に盛り上がりました。

後日、参加された新入社員の皆さんから、振り返りシートをいただきました。そこには「健常者 対障がい者ではなく、人対人として接することが大切ということを学ぶことができました」「相手の立場に立つて想像し、自分なりの手助けができればいいと感じました」「私はこの二日間で、障がい者と呼ばれる方々に対する考えが変わりました」など、前向きなコメントをたくさんいただきました。

今回の活動は、障害者に対する差別や偏見を解消する取り組みのひとつにもなるのではと考えます。今後もこのような機会がありましたら、積極的に協力させていただきたいと思えます。



令和元年度10月開始の新規事業について

当事業団では令和元年10月より2つの新たな事業を名古屋市から受託し、取り組みます。

障害者スポーツ振興体制の充実

2020年に東京オリンピック・パラリンピック、2026年にアジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催を控えて障害者スポーツ振興の重要性が一層高まっていることを受け、障害者スポーツの拠点施設である障害者スポーツセンターにおいて、障害者スポーツの振興体制を強化します。

1 実施環境整備

- 地域スポーツ教室の拡充
 - スポーツ施設の障害者受入コンサルティング
- 障害のあるすべての人が身近な地域で継続してスポーツ活動に取り組めるよう、地域スポーツセンター等と連携して環境整備を図ります。

2 理解促進・普及啓発

- 市民向け啓発イベントの開催
 - 障害者スポーツの観戦促進
- 体験型イベントの開催等を通じて、障害のある人に対するスポーツの普及振興、障害のない人に対する障害者スポーツの理解促進を図ります。

3 人材育成・確保

- 指導者養成、ボランティアの確保
 - 指導者と利用者のマッチング支援
- 指導者やボランティアを養成することにより、障害者スポーツの振興を図ります。

4 競技力向上

- 競技団体の運営支援・組織力向上
- 有力選手の発掘・支援

障害者スポーツ大会等において活躍できる選手を計画的、継続的に育成し、名古屋市の選手層を厚くし、裾野拡大および競技力の底上げを図ります。

介護ロボット等活用推進事業

介護分野では、介護職員の人材確保や定着、業務の負担軽減が大きな課題となっています。その課題解決の一端を担うことが期待されている介護ロボットですが、その情報や効果が知られていないことや、導入しても機器がうまく活用できていないのが現状です。

介護ロボットを広く普及させるために事業所への個別支援を行う体制を強化し、下記の事項に取り組みます。

①コンサルティング・マッチング

相談対応・専門家による現場でのアセスメントやマッチングを実施します。

②普及啓発

介護ロボットに関するセミナー・フォーラム等を開催し、普及啓発・理解促進を図ります。

③介護ロボット導入効果検証

介護ロボットを導入した事業所で、活用方法や効果を検証し、その結果を発表し普及促進を図ります。

アウトリーチ（訪問相談）

福祉のあり方が在宅福祉・地域福祉へ変化してきたことに伴い、なごや福祉用具プラザにおける来館者ニーズも住環境・介護環境に応じた相談へと変化をしています。そこで、作業療法士等が個人宅へ訪問し、地域で暮らす高齢者・障害者の様子や住環境・介護環境を踏まえた相談支援を行う体制を整備します。

りはみんサロン報告

5/14
(火)

看護の日イベント

今回は看護師による「ハンドマッサージ」とハーブティーで癒やしの体験をしていただきました。51名の参加があり、大盛況でした！

短い時間でしたが、手のツボを押しながらのマッサージと看護師との会話で手と心に潤いを感じていただけたようでした。

ハンドマッサージの技術習得には、名古屋市立大学病院の福岡副看護部長にご指導いただきました。また、私どもの練習にお付き合いいただきました皆様ありがとうございました。



6/4
(火)

大人の趣味講座 ～折り紙にチャレンジ！～



今回は障害当事者の講師をお招きして、折り紙作りに取り組んでいただきました。30名弱の方にご参加いただきました。

講座では、2作品の折り方を説明していただきました。1つ目はカエルの顔の形をした財布「カエル財布」、2つ目は「孔雀鶴」を制作していただきました。

参加された方からは「久しぶりに折り紙ができてよかった」や「小銭を入れて孫に渡そうかな」と前向きな感想をいただきました。

7/2
(火)

いつまでも楽しく食べるために ～嚥下(えんげ)のあれこれについて～

今回は言語聴覚士による嚥下機能についての講義を開催しました。44名の方にご参加いただきました。

講義では、嚥下機能についての概説をわかりやすく話していただきました。最近テレビの健康番組でもよく取り上げられる「誤嚥性肺炎」については、うなずきながら聞いている方も多く、関心の高さがうかがえました。またトロミ剤を混ぜた飲料の試飲もありましたが、初めてトロミ剤を体験された方々も多かったようで、それも好評だったようです。



今後も、りはみんサロンを通して地域の方々と交流を図りながら、リハビリテーションセンターの活動をもっと知っていただけたらと思います。



令和元年7月3日に名古屋市総合リハビリテーションセンター説明会を開催しました。

この説明会は、当センターで行われている障害のある方に対する一貫した支援の流れを関係機関の職員の方々に紹介するために開催するもので、今年度で5回目の開催となります。

今年度もセンターの事業や支援の流れ、看護部門、リハビリテーション部門、自立支援部門、高次脳機能障害支援部門、相談部門の各部門の支援内容についての紹介と事例紹介、施設見学を行いました。



今回の参加者は全体で38名でしたが、医療機関の方の参加が34名と大多数となりました。

センター説明会を開催しました

質疑応答、説明会終了後の個別相談会では、参加された方からさまざまな質問・相談があり、各担当者が回答しました。



参加者アンケートでは「見学で実際にリハビリをされている方が見られてよかった」「実際に見聞きできてよかった、定期的に開催してほしい」との感想をいただきました。

今回の説明会について良かった点、改善すべき点を次回に活かすとともに、当センターと関係機関の職員の方々とによりよい関係づくりのために、説明会をはじめとした広報に力を入れていきたいと考えています。



障害者スポーツセンター 修繕工事のお知らせ

障害者スポーツセンターにつきましては、昭和56年5月の開館以降、設備の安全性の確保および施設機能の維持を図りながら運営を行ってまいりましたが、開館から38年が経過し設備の老朽化が著しくなってきたため、大規模な修繕工事を実施します。

利用者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

令和元年度工事内容

① 給水給湯管改修工事

施設内各室への給水および給湯用設備について取換工事を行います。

② プール多目的更衣室改修工事

空調設備およびシャワールームを備えた更衣スペースへの改修工事を行います。

11月	12月	1月	2月	3月
全館利用不可				
プール利用不可				

● 工事に伴い、下記の通り利用制限をいたします。

1 令和元年11月11日(月)から令和2年1月12日(日)まで、全ての施設の利用ができません。利用のお申し込みなどの受付業務は通常通り行います。

2 令和元年11月1日(金)から令和2年3月31日(火)まで、工事エリアとなるプールおよび1階ロビー(プール側の一部)の利用ができません。2階フロアは通常通り利用ができます。

※ 工事の準備・調査のため、工事期間以前にも駐車場などで部分的に通行・駐車制限を行うことがあります。

なお工事期間中、臨時事業を計画しております。

詳細を名古屋市障害者スポーツセンターのウェブサイトに掲載しますので、ぜひご覧ください。

厚生労働省 介護ロボットの普及拠点事業

介護ロボットあいち・なごやフォーラム2019

介護現場などで介護ロボットの適切かつ効果的な導入と利活用を促進するために、地域の関係機関との連携によるフォーラムを行います。



日時：2019年(令和元年)11月5日(火) 10:00-17:00

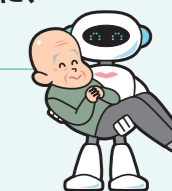
会場：名古屋市中企業振興会館吹上ホール 第一ファッション展示場(東側)

主催：社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団

事務局：(株)日刊工業新聞社

テーマ：介護ロボットの場を共創する。

～ユーザ・メーカー・施設・販社・行政・家族・仲介者等のステークホルダ皆で共に、介護ロボットの場(居場所・市場・地域拠点)を創り上げていく～



本フォーラムは、介護ロボットに関するシンポジウムと約30社の出展者から最新の介護ロボット等の体験展示・試用貸出を予定しています。

イベント情報

● 後期家族介護者教室 「楽しく介護のすすめ～介護体験講座～」

対象者：介護に関心のある方。

名古屋市内北部・東部・西部・南部・中部で実施。各4回。



◆ 西部介護者教室 場所：中川区役所講堂 定員：20名

- ① 11/7 (木) 食事のらくらく ～無理のない食習慣とお口の健康を心がけよう～
- ② 11/15 (金) 腰のらくらく ～起き上がりと移乗の基本を学ぼう～
- ③ 11/21 (木) からだにやさしい靴選び
- ④ 11/28 (木) トイレのらくらく ～もれない・もらさない いきいき生活のすすめ～



◆ 北部介護者教室 場所：名古屋市総合社会福祉会館 定員：20名

- ① 11/30 (土) 腰のらくらく ～起き上がりと移乗の基本を学ぼう～
- ② 12/7 (土) 食事のらくらく ～無理のない食習慣とお口の健康を心がけよう～
- ③ 12/14 (土) トイレのらくらく ～もれない・もらさない いきいき生活のすすめ～
- ④ 12/21 (土) からだにやさしい靴選び



日時、場所、申込方法等の詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

◎ 問い合わせ：なごや福祉用具プラザ 電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

事業団ウェブサイト <http://www.nagoya-rehab.or.jp>